

■ 循環型の森林づくりと林業・木材産業の発展
スマート林業の推進や道産木材の利用拡大、北森カレッジでの人材育成に取り組みます。
 (政策展開の方向性)
 スマート林業の導入とその実装を加速し、森林調査や計画的な植林など着実な森林施業とともに、木材の生産・加工などの効率化や省力化を促進し、道産木材の安定供給に取り組みます。また、「HOKKAIDO WOOD」ブランドの強化、店舗やビルへの道産建築材の導入といった利活用の拡大を図ります。北森カレッジにおいて実践的な人材育成など担い手の育成・確保に取り組むとともに、優良企業の創出など林業事業体の経営体質の強化を進めます。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
林業・木材産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村の体制強化や、市町村が行う森林整備への支援などを通じて、二酸化炭素吸収量の維持・増加に向けて育成複層林面積を確保【育成複層林面積H30：758千ha→R5：783千ha】 ○市町村、森林組合等による森林整備、路網整備に対する支援や、道有林野における計画的な森林整備を実施【育成複層林の面積H30：758千ha→R5：783千ha】 ○市町村、森林組合等による植林・間伐等の森林施業とその基盤となる路網整備に対する支援により、計画的な森林整備を推進【民有林におけるR5植林面積：7,824ha・間伐面積：18,815ha、R6路網整備：林道10km・林業専用道等58km】 ○道産木材を活用したモデル的な民間施設の整備への支援【R6：14施設】 ○木材加工流通施設等の整備や高性能林業機械の導入への支援【R6：20事業体】 ○木質バイオマスのエネルギー利用施設等の整備への支援【R6：2施設】 ○企業等と森林所有者のマッチングや、教育機関等が実施する植樹等の体験及び環境教育に対する支援、木育マイスター等と連携した木育活動を実施【木育活動 R4：78件 R5：102件 R6：124件】 ○スマート林業に係る技術の普及、機器導入支援、人材育成等を実施 	0707
豊かな森づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○治山事業により荒廃山地の復旧や山地災害の未然防止、水源の涵養など、保安林機能の維持・増進を図るとともに、津波に強い海岸防災林の整備を実施【山地災害危険地区のうち土石流等のリスクが高い箇所治山対策実施率R2：66%→R6：91%】 	0708
林業担い手対策	<ul style="list-style-type: none"> ○北森カレッジにおいて、インターンシップや林業・木材産業関係企業が参加する合同企業説明会の実施等により、卒業生が道内の林業・木材産業企業等へ就職【R6：31名】 ○北森カレッジでは、オープンキャンパスや高校等への個別訪問及び出張講義、道外での入学試験のほか、R6年度は札幌で「出張オープンキャンパス」を実施し、道内外から入学者を確保【R7：18名】 ○担い手協議会において、地元高校生などを対象とした現場見学や就業体験などを実施し、林業従事者の確保の取組を促進【全道14地域で実施】 ○若手林業従事者のネットワークを活用した勉強会や交流会を実施し、林業従事者の定着に向けた取組を促進【R6セミナー・イベント出展等：4回】 ○就労の長期化を推進するため、森林作業員就業条件整備事業により、就労日数に応じた奨励金を支給 ○特用林産物について、生産者団体と連携し、きのこ品評会や展示販売会等のイベントを行い、普及PRを実施【品評会：1回、道産きのこ直売会：16回】 ◇林業事業体の経営力の向上や労働安全対策の強化に向けたセミナー等の実施 	0709

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書(「○～」)、道ホームページ等(「◇～」)より引用・作成